

モデルコース② 1日コース(伝承館見学+フィールドワーク+対話)

バス複数台での実施の場合は、台数に応じてローテーションで実施。

①東日本大震災・原子力災害伝承館見学、②双葉町・浪江町フィールドワーク、③対話として、バス2～3台ずつ①～③をローテーションします。

●バス6台の場合 1日

<バス①②号車>

=  ①東日本大震災・原子力災害伝承館

バス①9:05～10:15

バス②9:15～10:15

※15分差をつけてクラスごと入場
後半入場クラスは、
先に1階の展示見学や記念撮影

=  ②双葉町・浪江町フィールドワーク

バス①10:20～11:50

バス②10:20～11:50

=  ③(対話)浪江町地域スポーツセンター

バス①②合同

12:00～13:00 昼食※弁当

13:00～14:00 対話

<バス③④号車>

=  ③(対話)双葉町産業交流センター

バス③④合同

9:00～10:00 対話

=  ②双葉町・浪江町フィールドワーク

バス③10:10～11:40

バス④10:10～11:40

=  ①東日本大震災・原子力災害伝承館

バス③④合同

11:40～12:40 昼食※弁当

バス③12:45～13:45

バス④13:00～14:00

※15分差をつけてクラスごと入場
後半入場クラスは、
先に1階の展示見学や記念撮影

<バス⑤⑥号車>

=  ②双葉町・浪江町フィールドワーク

バス⑤9:00～10:30

バス⑥9:00～10:30

=  ①東日本大震災・原子力災害伝承館

バス⑤10:45～11:45

バス⑥11:00～12:00

※15分差をつけてクラスごと入場
後半入場クラスは、
先に1階の展示見学や記念撮影

..  ③(対話)双葉町産業交流センター

バス⑤⑥合同

12:05～13:00 昼食※弁当

13:00～14:00 対話



東日本大震災・原子力災害伝承館

ホープツーリズムの学びの導入拠点。館内の映像や展示などの豊富な資料から、震災・原発事故直後から現在までの経過・復興のあゆみの全体像を学ぶことができます。

市町村:双葉町 所要時間:60分～

毎時00分/15分/30分/45分に上映しているプロローグシアターを5分程度視聴。

その後、展示ブースの見学に移ります。

※初回は9:05からプロローグシアターがスタートします。

※プロローグシアターの定員は50名(1バス程度)です。

※毎週火曜日休館



詳しくはこちらから



双葉町・浪江町フィールドワーク

見る

フィールドパートナーがバスに同乗し、海岸から約300mに立地する請戸小学校、児童たちが避難した高台である大平山、町の再生を感じるJR双葉駅周辺を巡りながら、震災当時の被害状況や復興の現状を案内します。

市町村:双葉町、浪江町 所要時間:90分～

見学ポイント

震災遺構 浪江町立請戸小学校(入場見学・館内自由見学)

浪江町営大平山霊園(下車見学)

JR双葉駅周辺(車窓見学)

※フィールドパートナーは、ツアー中のアテンド、ファシリテートを担当します。
1日ごとの振り返り(リフレクション)や、ツアー最終日のワークショップなどを通し、中立・客観的な立場から、参加者とともに、学びの成果へ導く総合案内人です。



詳しくはこちらから



)) ⑥ 復興に向け果敢にチャレンジする人々との対話

聞く

福島には各分野で復興に向け果敢にチャレンジする人々がたくさんいます。
対話を通して、多様な視点から震災・原子力災害の状況、
復興に向けた取り組みや課題について学ぶことができます。

所要時間:60分～

さまざまなテーマからご希望にあわせて選択が可能です。

●対話のテーマ

- | | |
|----------------------------------|--|
| ☐ 医療・福祉 | ☐ 原発・廃炉 |
| ☐ 事業者・起業者 | ☐ 防災・減災 |
| ☐ 地域づくり | ☐ 新産業(イノベーション・コースト構想) |
| ☐ 農林水産業 | ☐ 報道 |
| ☐ エネルギー | ☐ 伝統 |
| ☐ 教育・人材育成 | ☐ 環境回復・除染・中間貯蔵等 |
| ☐ 住民 | ☐ 放射線 |
| ☐ 保育 | ☐ 観光・交流 |
| | ☐ その他 |



詳しくはこちらから

